

福井地震の3D被害写真

福井地震翌日の航空写真

1948年6月29日 GHQ撮影



縮尺 約 1:1,500



- ① 福井市役所
- ② 福井警察署
- ③ 米橋軍軍団住地
- ④ 福井税務署
- ⑤ 福井銀行
- ⑥ 米橋軍軍総司令部
- ⑦ 人絹会館
- ⑧ 是則倉庫
- ⑨ 大和デパート
- ⑩ レーヨン会館
- ⑪ 酒伊ビル
- ⑫ 松竹座
- ⑬ 福井通信局
- ⑭ 福井裁判所

福井地震の3D被害写真①(福井県庁付近)

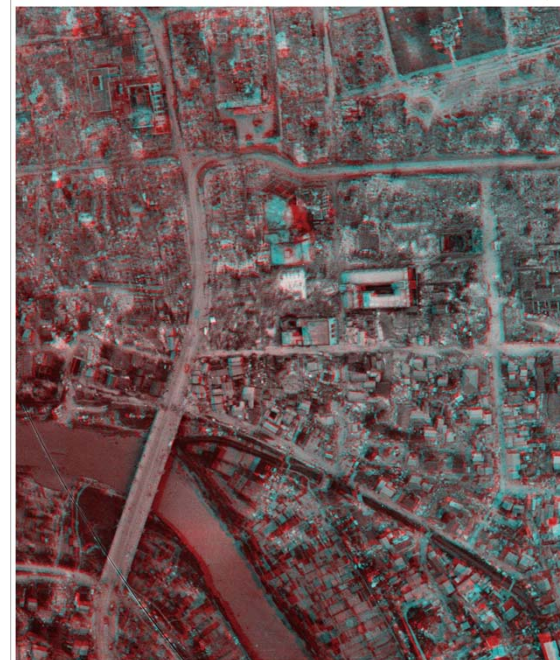


縮尺 約 1:1,000



1948年6月29日撮影

福井地震の3D被害写真②(幸橋付近)



縮尺 約 1:1,000



1948年6月29日撮影

昭和23年(1948年)6月28日(月)午後5時13分(当時はサマータイム制のため実時刻は午後4時13分), 旧丸岡町付近を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生し, 死者3,769人, 全壊家屋36,184戸の甚大な被害が発生しました。翌年には気象庁震度階級に震度7が設けられ, 2年後には建築基準法が制定されるなど, 地震工学に大きな影響を与えました。

左の写真は昭和20年の終戦後, 日本を統治していた連合国軍最高指令官総司令部(GHQ)が地震翌日に撮影した福井市中心部の航空写真です。木造家屋の多くは地震後の火災で焼失し, 鉄筋コンクリート造の建物だけが残っている様子がわかります。

右の2つの写真は余色立体写真というものです。赤青メガネで見ると建物を立体的に観察することができます。